

社会教育の充実について

1 公民館活動の現状

(1)生涯学習に対する意欲の高まり

(2)中央公民館の主な事業等 ※別紙参照

- ・子どもの学びサポート事業
- ・相馬市子ども科学フェスティバル
- ・家庭教育講座

2 さらに充実を目指し

社会教育指導員の利活用を図る

3 課題として

社会教育指導員に欠員が生じている状況

- 適した人材の早期確保
- 安定した人材の確保

社会教育の充実について（令和４年度～令和７年度以降の取り組み）

令和６年度総合教育会議資料：中央公民館

中央公民館の主な企画事業等			社会教育を充実を目的に令和３年４月１日から中央公民館に社会教育指導員を２名配置。				
No	事業名	事業の目的	令和４年度 （実績）	令和５年度 （実績）	令和６年度 （７月末）	令和７年度 以降の取り組み	社会教育指導員の役割
		社会教育指導員の配置	２名	２名	２名	３名（予定）	
１	成人を対象とした特別企画講座	生きがいつくりと知識や教養を学ぶ機会を作ること。	開催数　１１種３９回 参加人数　のべ３６８人 主な特別企画講座 報徳講座、スマホ講座など	開催数　２０種８４回 参加人数　のべ８５６人 主な特別企画講座 歴史講座、報徳講座	開催数　　９種３５回 参加人数　のべ２１０人 主な特別企画講座 お魚料理教室、健康講座	地区公民館と連携を図り、地区公民館を会場にした合同開催を増やす予定	企画立案、実施及び各公民館の支援
２	子どもや親子を対象とした特別企画講座	子ども達や親子の絆づくりと体験型の学びの機会を作ること。	開催数　　１種６回 参加人数　のべ１１９人 主な特別企画講座 親子科学教室、こども教室	開催数　　１種１５回 参加人数　のべ３２８人 主な特別企画講座 夏休み体験教室、 おやこ木工ワークショップ	開催数　　２種１４回 参加人数　のべ７５人 主な特別企画講座 中央こども教室、 野菜作り体験教室	各公民館において開催数を増やして開催する予定	企画立案、実施及び各公民館の支援
３	閉じこもり予防ネットワークの構築（送迎事業）	閉じこもり高齢者を公民館活動に参加させ、生きがいをつくること。また地域住民との繋がりを持ってもらうこと。	利用者のべ６７人	利用者のべ１０５人	利用者のべ２８人	継続して実施する予定	公民館と閉じこもり高齢者を繋ぐコーディネーター
４	学習発表会	公民館における市民の活動の成果を発表し、学習意欲の向上を図る。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止または規模を縮小して開催する予定。	１１月１８日（土） １９日（日）開催 来場者２７４人	１１月２３日（土）開催 来場者３２８人（見込）	継続して実施する予定	実行委員会の支援
５	地域ふれあい敬老会	高齢者を地域住民で祝うことで、地域住民の繋がりを深めること。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	９月１６日（土）開催 会場　はまなす館 記念品受取者６９０人、 式典出席者１５０人	９月７日（土）開催 会場　市民会館 記念品受取者５３６人、 式典出席者１００人	継続して実施する予定	実行委員会の支援

主に社会教育指導員が担当している事業

６	子どもの学びサポート事業	サポートボランティアによる子ども達への学習支援（歴史、文化、音楽、地理など）	実施回数１７回 派遣のべ３４人	実施回数４６回 派遣のべ５８人	実施回数４６回 派遣のべ５０人	各小・中学校において継続して実施予定	学校とサポートボランティアを繋ぐコーディネーター
７	相馬市子ども科学フェスティバル	市内の子ども達に科学の楽しさや魅力を伝え、科学に対する興味・関心を高めるために、市内誘致企業や団体からのブース出展協力を得て開催。	９月１８日に単独で開催 企業団体から２０ブース出展 参加人数　　８５０人 うち子ども　３６７人	１１月４日に開催 企業団体から２０ブース出展 参加人数　　６３１人 うち子ども　２５７人	１０月５日に開催 企業団体から２２ブース出展 参加人数　　７３１人（見込） うち子ども　３５７人（見込）	継続して開催する予定 企業、団体から幅広く ブース出展を依頼する予定。	実行委員会及びブース出展者との調整
８	家庭教育講座	子育て、親子関係などの悩みや課題について、親の学びを支援し、家庭教育の重要性への理解を深め、親子間での実践に繋げる。		開催数　　３回 参加人数のべ５７人 「相馬市の教育について」 「SNSとの関わり方について」 「家庭教育の役割について」	開催数　　４回 参加人数のべ１２０人（見込） 講座主題 「親業」「睡眠と健康」、「金銭教育」「怒りのコントロール」	継続して実施する予定	企画立案、実施等の支援
９	成人を対象とした特別企画講座（社会教育指導員が主たる担当するもの）	歴史講座、報徳講座、バリスタ講座、相馬花工房		開催数　　４種１９回 参加人数　のべ２９８人	開催数　　３種８回 参加人数　のべ１２７人	継続して実施する予定	企画立案と実施

○ 令和７年度以降の社会教育の充実を着実に進めるために、社会教育指導員の欠員の解消を図る

No	事業名	事業の目的と効果
１０	社会教育指導員の１名当たり３地区公民館担当による「地区公民館の定期訪問」	訪問による地域の学習要望等に対する相談対応と併せ、他地区公民館との連携企画や市内社会教育施設を活用した企画立案等の支援拡充を見込む
１１	社会教育指導員の１名当たり３小学校１中学校割当による「小中学校の定期訪問」	学校からの学習支援の要望聞き取り他、公民館と学校が連携した事業づくり（公民館と学校を繋ぐ）に向けた公民館と学校の支援拡充を見込む。

※相馬市社会教育指導員等に関する規則（昭和49年教委規則第３号）第３条に基づき指導員の数 は ３ 名 以 内。
※現在、社会教育指導員３名中（１名欠員）が生じている状況。